

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



鎮咳去痰薬

ミルコデシロップ

たんのからむ咳、ぜんそくに

ミルコデシロップは…

- たんのからむ咳や呼吸のたびに、「ゼーゼー、ヒューヒュー」という音をたてるようなぜんそく性の咳に効果をあらわします。
- 甘いかっ色のシロップです。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬
2. 長期連用しないでください



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 授乳中の人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の症状のある人。
高熱、むくみ
 - (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、高血圧、糖尿病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください









〔効 能〕

せき、ぜんそく、たん

〔用法・用量〕

下記の1回服用量を食後及び就寝前に服用します。場合により、1日6回まで服用できますが、1日5～6回服用する場合には原則として約4時間の間隔をおいて服用してください。

年齢	大人(15才以上)	11～14才	8～10才	5～7才	3～4才	1～2才	3～11ヵ月	3ヵ月未満
1回 服用量	 10mL	 6mL	 5mL	 3mL	 2.5mL	 2mL	 1mL	服用しないで ください
1日 服用回数	4 回							

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。(添付の計量コップをご使用ください)
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

〔成分・分量と働き〕60mL中

成 分	分 量	働 き
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	75mg	気管支をひろげ、せきを鎮めます。 たんをうすめて出しやすくします。
グアイフェネシン	300mg	
カンゾウエキス	280mg	
セネガエキス	150mg	
キキョウエキス	400mg	

添加物として、白糖、安息香酸Na、パラベン、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、アルコール、シクロデキストリン、塩化Ca、クエン酸、pH調整剤、香料(バニリンを含む)を含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。
- (5) 甘味成分のためキャップが開けにくくなる場合がありますが、このようなときは、一度キャップ部を温湯に浸してから開けてください。
- (6) 本剤は、生薬エキスを配合していますので、わずかに濁りや沈澱を生じることがありますが、効果には変わりありません。また、沈澱を生じている場合はよく振ってから服用してください。



◎せき、たんが早く楽になるためのアドバイス

1. 睡眠をとり無理をしないことが治療の第一歩。外出するときは、あたたかくして体を冷やさないように注意しましょう。
2. 水分を多くとるようにしましょう。たんのきれがよくなり、せきが楽になります。
3. 部屋の空気をきれいにしましょう。また、部屋をあたたため、なるべく湯気をたてて空気の乾燥を防ぎましょう。
4. うがいを心がけましょう。のどの不快感がやわらぎ、せきやたんが楽になります。外出のときは、マスクも効果があります。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
 (独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの
 お店又は下記にお願い申し上げます。
 佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
 電話 03(5412)7393
 受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
 東京都港区元赤坂1丁目5番27号